

Accompaniment

アカンパニメント

～伴走者～

第18号

特別支援教育の推進に向けて

留萌教育局では、「個別の教育支援計画の活用による、幼児期から就労までの切れ目のない特別支援教育の充実」を重点的な取組に掲げ、教員の資質能力の向上に向けて、児童生徒一人一人の障がいの状態等に応じた授業改善に係る支援を行うことや、留萌管内特別支援連携協議会において切れ目のない一貫した支援等について協議し、特別支援教育の推進に向けた関係機関とのより一層の連携に取り組んできたところです。

個別の教育支援計画について

個別の教育支援計画の活用に当たっては、学校はもちろん、家庭、医療・福祉機関において、それぞれが提供する支援の内容を具体的に記述し、支援の内容を整理したり、関連付けたりするなど関係機関の役割を明確にすることなどが考えられます。

また、就学前や卒業後の連携については、例えば、就学前に作成される個別の支援計画を引き継ぎ、適切な支援の目的や教育的支援の内容を設定したり、進路先に在学中の支援の目的や教育的支援の内容を伝えたりするなど、就学前から在学時、そして卒業後まで、切れ目のない支援に生かすことが大切です。

個別の教育支援計画等は、児童生徒に関わる関係者が、将来の姿を含めて、児童生徒の情報を共有し、互いに協力し合い適切な指導や支援につなげることを目的としたツールです。これまでの指導や支援、関係機関との連携など、教職員と保護者が児童生徒のために取り組んできた記録を残し、次のステージにつなげることが主な目的であり、全ての項目を記入することに注力し過ぎるなど、個別の教育支援計画等を作成するという手段が目的化しないように留意する必要があります。

個別の教育支援計画の見直し及び活用について、取組事例を紹介します。

○「引継ぎスケジュール」シートの作成で引継ぎを可視化する

- 最終学年の卒業までの1年間を中心に、特別支援部会、校種間連携の行事、引継ぎに関わるミーティング等を計画的に位置付ける。
- 引継ぎのスケジュール、方法、必要なツール、メンバー等をチェックできるようにし、学校間で共有する。

○年間で予定を調整し、継続した引継ぎに

- 時期を分けて、引継ぎミーティングを複数回実施。
- 「生活面」、「行動面」、「人との関わり」、「学習面」等、実態把握を行う時期を明確にし、その内容を「個別の教育支援計画」の見直しに活用する。

○引継ぎ資料の見直しで円滑な情報共有

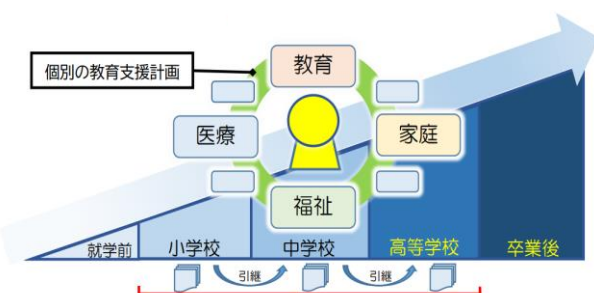
- 学校間で「個別の教育支援計画」等、引継ぎに係る共通の視点をもつ。
- 学校間で観点を合わせて引継ぎを行う。

○情報共有型の引継ぎの実施

- 校種間の交流会と引継ぎミーティングを併せて実施し、複数の眼で継続的に子どもの姿を見ていくことで、理解を深め、伝達型から共有型の引継ぎに。

なお、引継ぎについては、令和6年2月28日付け教留第6244号通知「進学等に際する幼児児童生徒に関する情報の引継ぎについて」でも進学や就労する生徒等が新しい学校や事業所等で円滑に生活が送れるよう、上級学校等に適切に引継ぎを行うようお願いしているところです。

上級学校等に引継ぎ等を行う場合は、生徒等や保護者の理解を得ることが重要です。そのため、事前に保護者等と引き継ぐ内容等を共有していただきますよう、お願いいたします。



出典:「特別支援学級担任のハンドブック(新訂版)」31頁



「特別支援学級担任のハンドブック(新訂版)」



「小・中学校の管理職のための特別支援教育ハンドブック」